



岡山産業保健推進センター

《おかやまさんぽメールマガジン》 第17号 2009年7月1日(水)

発行 岡山産業保健推進センター 所長 石川 紘



## I N D E X

### 1 大事なお知らせ

\*岡山産業保健推進センター事務所が移転しました！

\*研修・セミナーのテーマが変更されました

### 2 相談員アドバイス

『心因性精神疾患について考えたこと』

大月 健郎

### 3 センターからのお知らせ(相談・研修・行事案内等)

---

### 1 大事なお知らせ

---

\* 岡山産業保健推進センター事務所が移転しました！

平成21年6月22日(月)より事務所を下記の通り移転しましたのでお知らせ致します。6月22日(月)午前9時以降の教材貸出・返却、産業保健相談、研修などは全て新事務所にて行っていますのでご注意ください。

新所在地；

〒700-0907

岡山県岡山市北区下石井2-1-3

岡山第一生命ビルディング12階

電 話 番 号 ; 0 8 6 - 2 1 2 - 1 2 2 2 ( 変 更 な し )  
F A X 番 号 ; 0 8 6 - 2 1 2 - 1 2 2 3 ( 変 更 な し )  
メー ル ア ド レ ス ; [info@okayama-sanpo.jp](mailto:info@okayama-sanpo.jp) ( 変 更 な し )  
ホ ー ム ペ ー ジ ; <http://www.okayama-sanpo.jp/> ( 変 更 な し )

---

\* 研修・セミナーのテーマが変更されました

平成 21 年 8 月 24 日 ( 月 ) に 予 定 さ れ て い ま し た 研 修 会 の テ ー マ が 『 拒 食 症 、 過 食 症 』  
か ら 『 新 型 イ ン フ ル エ ン ザ 対 策 に つ い て 』 に 変 更 さ れ ま し た の で お 知 ら せ 致 し ま す 。

事 前 に お 申 し 込 み 頂 い た 参 加 者 の 方 に は 、 ご 迷 惑 を お か け し ま す が 、 何 卒 ご 理 解  
頂 け ま す よ う 、 よ ろ し く お 願 い 申 し 上 げ ま す 。

#### 【 研 修 ・ セ ミ ナ ー 】

時 間 : 8/24 ( 月 ) 14 : 00 ~ 16 : 00

場 所 : 岡 山 第 一 生 命 ビ ル デ ィ ン グ 3 階 共 用 会 議 室

研 修 テ ー マ : 『 新 型 イ ン フ ル エ ン ザ 対 策 に つ い て 』

講 師 : 勝 田 相 談 員

内 容 : 新 型 肺 炎 ( S A R S ) が 流 行 し た 2 0 0 3 年 、 北 京 の 日 本 大 使 館 で  
医 務 官 と し て 勤 務 し た 経 験 を 持 つ 勝 田 吉 彰 相 談 員 が 、 新 型 イ ン フ ル  
エ ン ザ 対 策 に つ い て 、 話 し ま す 。

---

## 2 相 談 員 ア ド バ イ ス

---

心 因 性 精 神 疾 患 に つ い て 考 え た こ と

岡 山 産 業 保 健 推 進 セ ン タ ー 相 談 員 大 月 健 郎

精 神 疾 患 は 病 因 に よ っ て 、 内 因 性 、 外 因 性 、 心 因 性 に 分 け ら れ る 。 内 因 性 と は 本 人  
の 素 質 に 基 づ い て 内 部 か ら 病 気 が 起 こ っ て く る こ と を 示 す 。 代 表 的 な も の は 統 合 失

調症や躁うつ病である。外因性とは脳が一次性に障害されるか、身体的な疾患に伴って二次的に障害されることによって病気が起こってくることを示す。一次性のものは、脳炎、頭部外傷、脳腫瘍、アルコール、薬物性精神障害などがこれにあたり、二次性のものは肝不全による肝性脳症や膠原病や内分泌疾患に伴う症状精神病などがこれにあたる。内因性の反対語が外因性であるが、その外因が心理的社会的なものを特に心因性と呼ぶ。心因性には、精神的原因から反応的に精神症状がおこる一連のストーリーが説明できるという意味が含まれている。心因性精神疾患には、不安神経症、パニック障害、解離性障害、転換性障害、心的外傷後ストレス障害などが含まれる。

さて、精神科の外来には、心の悩みを何とかして欲しいと願ったり、周りの人に進められたり、無理やり連れて来られたりして患者さんが訪れる。心因性精神疾患の患者さんもまた何かを求めて外来を訪れる。

中学3年のA子さんは、目がパッチリして笑顔が可愛い。おしゃべりも面白いが、何故か急に足が立たなくなってしまった。神経内科や整形外科を受診してあらゆる検査を受けたが、どこにも異常が見つからなかった。学校に行くのが嫌なのではと思って色々と尋ねてみても、嫌なことは何もなく、学校生活は楽しいと言う。その証拠に学校には車椅子で休まずに行っている。何度か話を聞いているうちに、どうやら両親がしっくりしていないため家庭は父親不在の様な状態だと分かってきた。それに加えて担任の男性教師への恋愛感情の様なものが芽生えて、父親への感情と担任教師への感情が葛藤となっている様子が見えてきた。

高校1年生のB子さんは、おとなしくて控えめだが、芯が強そうに見える。幼児期に両親が離婚し、主に祖母によって育てられたが、その祖母は他界し、姉も進学したため、今は父と二人で生活している。授業中に気分が悪くなり保健室に行くことが増え早退することが重なった。喉が詰まったようで空気が吸えなくなり、胸が苦しくて、気を失いそうになると言う。さらに「気分が落ち込んでもう限界、死にたい」と担任の先生に手紙を書いたため、若くて熱心な担任の先生に連れられて受診した。通院して様子を見ることにしたが、体操服をハサミでズタズタに切られるなど状況はさらにエスカレートしていった。先生の気を引きたくて手紙を書いたが、精神科へ連れて行かれるといった「期待はずれの対応」によって混乱して、自分で自分の体操服を切った可能性が高く、やはり教師への恋愛感情が関係すると考えられた。

A子さんもB子さんも、それぞれの環境の中で、いつの間にか恋愛感情に対して否定的な感情や、抑圧的な価値観が育まれていたのだろう。あるいは恋愛感情ではなくて

、単に父親へ複雑な感情が投影されたものかもしれない。いずれにしてもそれは、彼女たちの中では、認めたくないものだったので、無意識の中に閉じ込められそうになり、身体的なあるいは精神的な症状となって現れたと考えると合点がいく。そうであれば、そんな心の声をしっかりと聞くこと、批判せずに素直に受け入れること、共に悩み現実的な解決策を共に考えることによって、やがて症状はその存在価値を失っていく。しかし、治療はいつもうまくいくとは限らない。彼女たちは、実際のところ自から望んで受診したわけではない。治療は決して押し売りであってはならない。不本意ながら受診している気持ちを汲みとって、治りたいと願うまで待つことも必要である。症状は精一杯の心の叫びなのだから、大切なものとして扱うよう心がけるべきであろう。

先述したように、患者さんは精神科の外来に何かを求めて訪れる。受診の目的はなにか？患者さんの希望に沿う事は治療にとってプラスかマイナスか？それは可能か不可能か？患者さんの求める方法以外に選択肢があるかどうか？自分が提供できる方法は何か？などを考えながら細心の注意で真剣勝負をしているつもりだ。時間はかかってもほとんどの人は良くなり、すべての人は「何とかなる」。実は、治療者が楽観的な見通しを信じていることが一番治療効果を上げる。天然なくらいが丁度いい。

---

### 3 センターからのお知らせ（相談・研修・行事案内等）

---

#### ■ 産業医研修会 ■

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

日 時： 7/16（木）19：00～21：00

場 所： 岡山労災病院3階会議室

研修テーマ： 『過重労働対策の実際』

『モデル書式を用いたシステムティックな過重労働対策』

: グループワーク

講師： 岸本 卓巳（岡山労災病院 副院長）  
高尾 総司（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野講師）  
定員： 50名  
受講料： 2,000円

---

#### 2009年夏 日本医師会認定産業医研修会

日時： 8/1（土）10：00～18：15  
8/2（日） 8：30～16：30  
場所： 岡山労災病院3階会議室  
対象： 産業医の資格を有していない医師  
定員： 50名  
受講料： 15,000円

---

日時： 9/3（木）19：00～21：00  
場所： 岡山労災病院3階会議室  
研修テーマ： 『メンタルヘルスの実際2』  
『企業でよくあるQ&Aに基づくメンタルヘルス対策』  
: グループワーク

講師： 高尾 総司（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師）  
神里 英吾（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 非常勤研究員）  
定員： 50名  
受講料： 2,000円

---

日時： 10/8（木）19：00～21：00  
場所： 岡山労災病院3階会議室  
研修テーマ： 『判例から学ぶ健康管理における法律実務』

講 師： 松原 健一（安西法律事務所）  
定 員： 50名  
受 講 料： 2.000 円

---

日 時： 11/19（木） 19：00～21：00  
場 所： 岡山労災病院 3階会議室  
研修テーマ： 『産業医から見た健康管理における判例の意義』

講 師： 高尾 総司（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師）  
定 員： 50名  
受 講 料： 2.000 円

---

日 時： 12/10（木） 19：00～21：00  
場 所： 岡山労災病院 3階会議室  
研修テーマ： 『メンタルヘルスの実際3』  
『企業でよくあるQ&Aに基づくメンタルヘルス対策』  
： グループワーク

講 師： 高尾 総司（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師）  
鈴木 越治（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 助教）  
定 員： 50名  
受 講 料： 2.000 円

---

■ 岡山産業保健推進センター主催セミナー・研修会 ■

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

---

【健康管理研修会】

日 時： 7月2日（木）14：00～16：00  
場 所： 岡山第一生命ビルディング3階 共用会議室  
研修テーマ： 『過重労働対策と面接指導について』  
内 容： 過重労働対策と面接指導の実際を判りやすく解説します  
講 師： 道明相談員

時 間： 8/12（水）14：00～16：00  
場 所： 岡山第一生命ビルディング3階 共用会議室  
研修テーマ： 『健康診断結果の見方と事後措置について』  
内 容： 健康診断結果の見方をおさらいし、事後措置について解説します。  
講 師： 中村相談員

---

【メンタルヘルス研修会】

時 間： 7/15（水）14：00～16:00  
場 所： 岡山第一生命ビルディング3階 共用会議室  
研修テーマ： 『認知症について』  
内 容： 高齢化社会に伴って増加している認知症の種類と治療法および認  
知症の周辺症状に対する対応について  
講 師： 大月相談員

---

【カウンセリング研修会】

時 間： 8/20（木）14：00～16：00  
場 所： 岡山第一生命ビルディング3階 共用会議室  
研修テーマ： 『職場のメンタルヘルスとカウンセリングⅠ』  
内 容： 職場のメンタルヘルス講義と傾聴の講義  
講 師： 武田相談員

---

【産業看護研修会】

時 間： 7/21（火）14：00～16：00  
場 所： 岡山第一生命ビルディング3階 共用会議室  
研修テーマ： 『熱中症予防』  
内 容： 梅雨明けと共に発生しやすくなる熱中症は、家の中でも起こりうるため日頃の注意点について学びます。  
講 師： 福岡相談員

---

産業医研修会・セミナーのお申込はこちらからどうぞ  
<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

- 
- ▼今後、研修会開催場所に関しては変更になる可能性があります。  
変更になった場合は、速やかに御連絡いたします。
  - ▼当センターの研修会、貸出教材、メールマガジン、ホームページの内容など各種事業に関する御意見、御要望を下記メールアドレスにEメールにて御遠慮なくお願いいたします。

E-mail : [info@okayama-sanpo.jp](mailto:info@okayama-sanpo.jp)

---

次回の第18号は8月3日（月）の配信予定です。

- ▼ 教材情報・センター情報の詳細確認、利用申込等は下記のホームページURLからアクセスしてください。
- ▼ Eメールアドレスの変更、配信停止なども下記メールアドレスへお願いします。
- ▼ 著作権法の規定により、他者の著作物を私的な目的以外で複製することは禁止されていますので、必ず守ってください。

- ▼ 当メールマガジンは、リンク先サイトの内容やプライバシーについて、責任を負うものではありません。利用者自身の責任においてご利用ください。
- ▼ このメールは配信専用メールアドレスから配信されています。このまま返送いただいてもお答えできませんので、必ず [info@okayama-sanpo.jp](mailto:info@okayama-sanpo.jp) へ御返送ください。
- ▼ バックナンバーはホームページの「メールレターを配信しています！」に掲載しております。



独立行政法人 労働者健康福祉機構岡山産業保健推進センター

〒700-0907

岡山県岡山市北区下石井 2-1-3

岡山第一生命ビルディング 12階

TEL : 086-212-1222      FAX : 086-212-1223

H P : <http://www.okayama-sanpo.jp/>

E-mail : [info@okayama-sanpo.jp](mailto:info@okayama-sanpo.jp)

